

東京駅リベンジ

Bokka & Sayoko
Chapter of
Tokyo Station

あたしのなかで響くキス

Revenge #03





こゝろ...

ハメちやつたけど...

はあ...



はあ...
ダブルで、

ちゅっ...

はあ...

ちゅっ...

このままじゃ、
駄目だな...

はあ...

突き直す？
ふう

はあ



ん...
ごめん...

キザ...

ほぐすから...





向う、さ...

明るいよね...

おほ...

うん。こしも、下も。

ふり...
ふに...
いつばい
見えそうだよ。



ん？

.....

おほ...
おほ...



はあ...

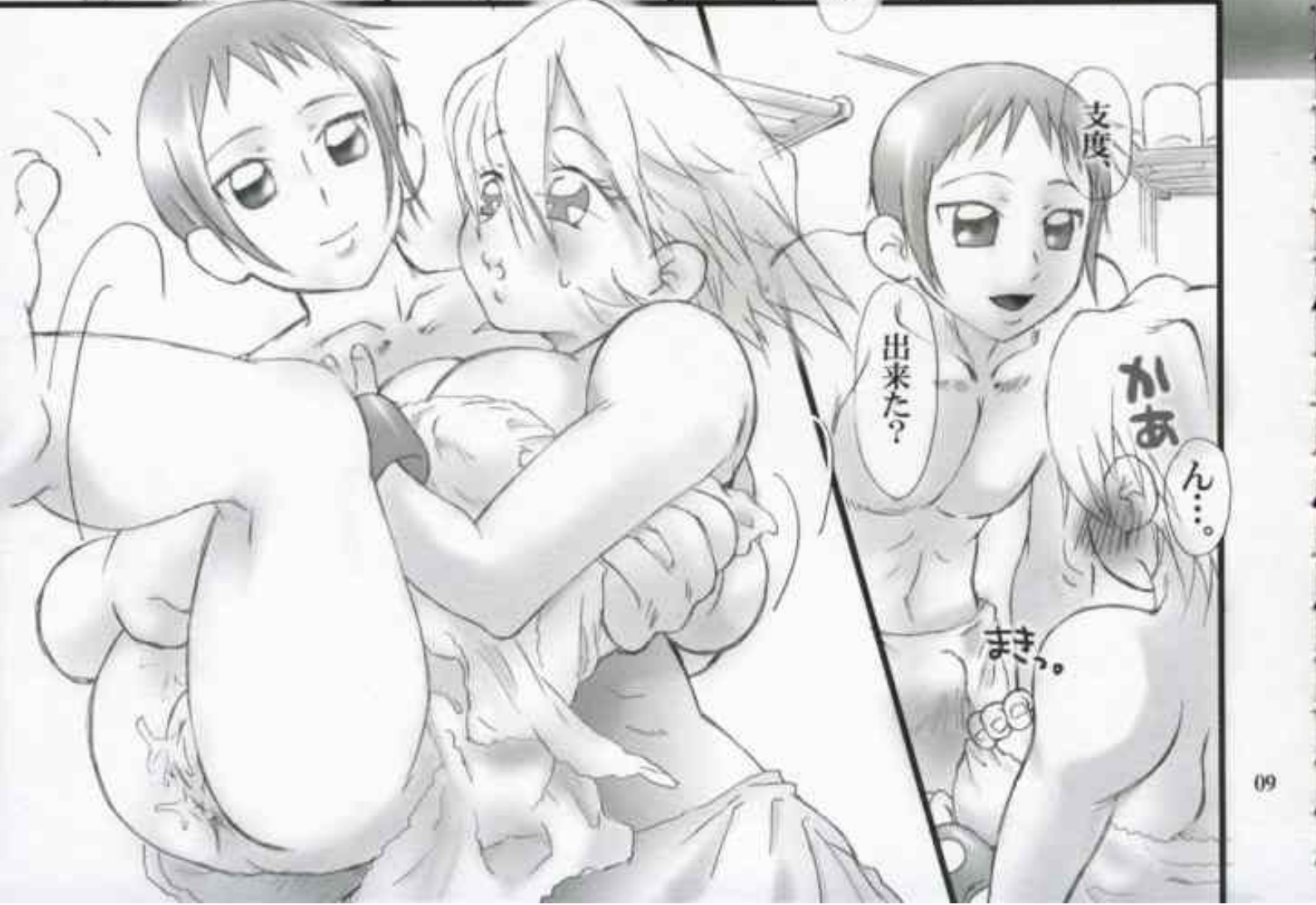
じゃあ、
じゃあ、

はあ

すい
すい

巻く...

ま
ま





だ
抱っ
こ……！



……！
ssanno

へた

へた





ほよん...

おんあ...



小夜子…、

二人で、
ダブルだ。

ホウ…



ほま



あ、

明るいよ…。



うん…。

続き、

はあ…

しても、平気？









あ

ポツカだけ、
ずるい!

あたしだけ、
脱がせておいて、

はうん!



は

は

お

ふ

は

は

は



今夜...

今の、

良い笑顔。

えっ。

くす...

?

今夜... 本当に、
ポツカと

今夜こそ、
こんな事、
思う。

ふっ、
ふっ、

さ...
あんッ
アはんッ...

いつもの
元気が出てきた
じゃない。

もう、
ポツカは、
元気出し過ぎ、
でしょ...

はあ

その調子...

...バカ...

うん...

ふは...ん

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ



あたし、やっぱり
……嬉しい……

あはっ

なんか、
……夢、みたいでさ、
少し、
怖かったんだ……



あはっ

今度は、
あたしがさ……



あはっ

とっ……









小夜子の
桃が、蜜で
溢れてるの、

あーっ

丸見えだ…。

蜜が…
光ってる。
さつきよりも…
贅沢なピンクだ…。

はあっ

くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ



くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ

あーっ
ポツカあ…
やっ、やらしいよ…お！

あーっ
あーっ

はあっ…





あん…
あん…

もう…。

ぐちゅっ

あん

あん

ぐちゅっ

せつかく、ホツカに
お返ししたと
なのに…！

ぐちゅっ



はう…

また…キスで、
はう

んっ

ぶう

一杯にして
もらったね…。

ハ4ユ♡
はん…

たぷん…

たぷん…

ぐちゅっ

たぷん…

キスで

フル…

もう、
一杯にしてあげる。



おっぱい

は...



おっぱい

...うはあ...あ

ボツカツあ...



あーっ!!

はあはあ...

あーっ!!

小夜子

深い.....

はあはあ
はあ

たんっ

キスう.....

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!



ダブルで

…あはん…!

…あ…

あ…あ…

あはっ…!

入った…。

あ…

ボツカ…う
…うあうあああ…!

…ボツカの、息のおと…。

小夜子…。

キラキラ…!

あ…あ…

…あ…

あ…

あ…

あ…



ああん...はっ...

あたしの内まで、

胸の...奥まで届いて、

...小夜子...

大きくなって.....っ、

響いてる...

鳴り止まないよ...

ポ...ああん...

あん

ああん...

ああん





あは

あは

きみと...

もし...
生きて...

きみの側に
帰ったら...

ここでキスが
したいって、
ずっと思ってた...



あの日ここで
数え違えた、

74回目をさ。

僕からの...キスで...

ちゃんと
埋めたかったんだ。

to be continued...!

Presented By *NE-PI*

TOKYO STATION HOTEL

Bokka & Sayoko,

Chapter Tokyo Station **FanBook**

Rin Sakuratsuki